

詐欺から大切な人を守るために

大竹市立小方中学校 3年 原 田 乃 愛



今、世の中は、暴力行為、薬物乱用、万引きなど、たくさんの犯罪の危険であふれています。近年は情報化が進み、それに伴ってSNSでのいじめや誹謗中傷も増え、ニュースの犯罪に関する報道をより身近に感じるようになりました。

私の学校では七月に犯罪防止教室があり、警察署に勤めている方が防犯に関する話をしてくださいました。そのことをきっかけに、改めて犯罪について考えてみました。もし私が犯罪に巻き込まれたら、周りの人はどんな気持ちになるだろう、そう考えると同時に、もし大切な人が犯罪に巻き込まれたらどうしよう、と思いました。そのときに祖父母の顔が思い浮かびました。私が小さいときは、祖母が毎日保育所に迎えに来てくれて、帰り道に私の話をたくさん聞いてくれました。祖父は私をいろんな場所に連れて行ってきて、たくさん遊んでくれました。私にとって二人は優しく、大切な存在だったし、それは今も変わりません。しかし、私には不安なことがあります。

それは詐欺被害についてです。警察庁のホームページによると、令和四年度の特種詐欺認知件数は、一万七五七〇件でした。実際に祖父母の携帯電話に詐欺メールが届いたこともあります。祖父は大丈夫だと言って私を心配させないようにしてくれたけど、それでも不安になってしまいます。何か私にできることはないかと思って、自分なりにどうすれば詐欺の被害から家族を守れるか考えてみました。

その結果、いちばんの対策方法は家族と話すことではないかと思いました。今までは、何かあったときに私の知らない間に、大人だけが話し合っ解決していたということがあったと思います。しかし、何か私にできることはないかと思った以上、私も家族の一員として、家族の問題は一緒に考えていきたいと思いました。まずは第一歩として、今までは私が家族に声をかけられる立場だったけれど、これからは私が声をかける立場になりたいと思いました。

例えば、ワンクリック詐欺やフィッシング詐欺などに備えて、怪しいメールは無視するように声をかけたりしたいです。祖父母の携帯電話に怪しいメールが届いたときは知らないアドレスからだったから確認しなかったと言っていたが、送信者名を銀行会社や運送会社などに詐称してメールが送られれば、身に覚えがなくても信じきってしまい、メールを見て、詐欺の被害にあう危険性があります。それを防ぐために、普段から少しでも怪しいと思うことがあったら、一度家族に声をかけてと呼びかけたり、実際にメールを使った詐欺の手

口について注意するよう話し合ったりしたいです。

現代の日本は核家族の割合が多くなり、昔と比べて高齢者と若い世代の繋がりが薄くなったと思います。そのことを利用して詐欺を働く悪い人がたくさんいます。みなさんにも犯罪から家族を守るための取り組みをしてほしいです。私には、今は家族と話をして詐欺を防ぐことしかできないことがないけれど、それが大切な人を助けることがあるかもしれないと思って、これから先も続けていきたいと思います。